

アンケート調査結果（単純集計）の概要

事業所における大型車の保有状況や運行経路の把握、ならびに、環境ロードプライシングの試行内容の充実や国道43号（尼崎市域）で交通規制が実施された場合の運行経路選択に関する意向等を把握することを目的に、平成17年3月3日に事業所及びドライバーを対象にアンケート調査を実施した。

以下、回収したドライバー/運行管理者・アンケート票(2,228票)及び事業所・アンケート票(2,492票)の単純集計結果（概要）を記載する。

1. ドライバー/運行管理者・アンケート票について

【運行実態について（問1～3）】

調査日に通行した大型車の約4分の3以上が道路交通法大型車及び阪神高速料金大型車であった。

調査日の通行ルートは、神戸市（灘区・東灘区・中央区）、大阪市（西淀川区・港区・此花区・大正区・住之江区）、尼崎市南部（2号以南）を出発地、目的地とするルートが多かった。

運行時間帯は6時台から16時台までの昼間に多く、ピークは10時台であった。

1日の運行頻度は1～2回が際立って多かった。

路線の選択理由として、国道2号、43号の利用者は、「出発地、立ち寄り地、目的地から近いから」、神戸線・湾岸線については、「自社の指定だから」を1位に挙げている。

【変更意向について（問4～8）】

変更意向について

- ・43号規制で、1車線規制（9%）< 2車線規制（19%）< ナンバープレート規制（33%）の順に、変更する人の割合が増加した。
- ・また、43号規制で変更しない割合は、1車線規制（66%）> 2車線規制（47%）> ナンバープレート規制（26%）の順となっている。
- ・43号規制の変更先は、いずれの施策でも湾岸線が4割以上と多く、次いで国道2号が約3分の1と多かった。
- ・ロードプライシングの湾岸線割引の場合、湾岸線に変更する、変更しない、わからないが各々約3分の1ずつであった。
- ・ロードプライシングの神戸線割増では半数以上が、わからないと回答。
- ・神戸線割増による変更先は、湾岸線が約6割と最も多く、43号への転換は約2割であった。
- ・いずれのパッケージでも、約半数がわからないと回答している。

変更する料金設定（割引、割増額） ロードプライシング、パッケージ（国道43号規制+ロードプライシング）

- ・湾岸線割引では、パッケージを含めていずれの施策でも500円台、700円台、1200円台の割引が多く、割引対象区間は「西線～東線」が約7割と最も多かった。
- ・神戸線割増では、パッケージを含めていずれの施策でも100円台、200円台、500円台の割増が多く、割増対象区間は、「西線～東線」が約5割と最も多かった。

変更しない理由

- ・いずれの43号規制でも通行ルートを変更しない理由に、「出発地、立ち寄り地、目的地から遠くなるから」「国道43号沿いに用事があるから」という理由や「自社・荷主から指定されているから」、「阪神高速は通行料金がかかるから」という理由が上位を占めている。
- ・ロードプライシングで湾岸線へ変更しない理由は、いずれの路線も「出発地、立ち寄り地、目的地から遠くなるから」、「自社・荷主から指定されているから」や「国道2号・43号沿いに用事があるから」、「阪神高速は通行料金がかかるから」が多かった。

2. 事業所・アンケート票について

【大型車の保有状況について】

初度登録年別の保有台数は、1996年及び2004年が高い。

「低排出ガス車」「ディーゼル微粒子除去装置装着車」の普及率は、いずれも全大型車数の12%。

【その他】

事業所の輸送形態は、出入業者>自社輸送>委託輸送の順が多かった。

運行ルートの決定者は、「貴事業所」「ドライバー」が多く、荷主が決めている割合は少なかった。

単純集計について

(1) 集計項目

ドライバー/運行管理者・アンケート票

設 問		集 計 項 目
はじめに	尼崎市内の通行	調査日における尼崎市内の通行状況
問 1	車種分類	ナンバープレート番号・寸法、車種分類（道路交通法大型車・阪神高速料金大型車）
問 2	通行実態	出発地・目的地
		時間帯
		通行区間
		頻度
問 3	路線別選択理由	各路線（国道 2 号、国道 43 号、阪神高速神戸線、阪神高速湾岸線）の選択理由
問 4 ~ 問 8	変更意向・ 変更ルート	施策別変更意向・変更ルート先
		割引・割増額及び割引・割増対象区間
		通行し続ける理由、変更しない理由

事業所・アンケート票

設 問		集 計 項 目
問 1	大型車保有台数	大型車保有台数（初度登録年別、ナンバープレート番号・寸法別、車種分類）
		低公害車種別大型車台数
問 2	大型車出入 （運行）の有無	大型車出入りの有無、運行の有無
問 3	運行ルートの 決定者	運行ルートの決定者
業種		業種別

(2) 集計方法

ドライバー/運行管理者・アンケート票 2,228 票、事業所・アンケート票 2,492 票について集計対象とした。

1つしか回答しない設問で複数回答がある場合、または、最大回答数が決められている設問（3つ以内）で決められた回答数以上の回答がある場合についても、回答すべてを集計の対象とした。各設問の回答対象者以外の回答も集計の対象とした。

尼崎市内外の区間のみを通行したルートについても、合わせて集計している。